

令和6年度広島県児童虐待防止(オレンジリボン)キャンペーン事業業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年7月26日(金) 13時10分から16時05分まで
2	場 所	オンライン会議(ZOOM)にて実施
3	出席委員	広島市こども未来局こども青少年支援部こども・家庭支援担当課長 公益財団法人ひろしまこども夢財団事業課長 総務局広報課長 健康福祉局こども家庭課長 西部こども家庭センター次長 東部こども家庭センター所長 北部こども家庭センター所長
4	議 題	提案書の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	健康福祉局こども家庭課
6	開催方法	参集(オンライン)
7	議事内容	<p>提出された提案書を基に、プレゼンテーションによる審査を行い、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者(最優秀提案者:◎)</p> <p>A社:株式会社読賣連合広告社広島支社 B社:株式会社トマトコーポレーション C社:株式会社読売広告社広島支社 D社:株式会社中国四国博報堂(◎) E社:株式会社みづま工房</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A社:株式会社読賣連合広告社広島支社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存ウェブサイトの分析に納得感があり、改善策が適切にされていると感じる。 ・ウェブ広告をはじめ、伝わる量を増やすことに重点を置いた提案は評価できる。 ・自由提案については、県全体のバランスは取れているが、メディアの活用などによる訴求力が弱いように思われる。

【B社：株式会社トマトコーポレーション】

- ・ランディングページの改善について情報が整理され好感が持てた。
- ・情報接触量が不足しており、ウェブ広告の予算も少ないように感じる。
- ・県全体のバランスに配慮された提案だと感じるが、ウェブサイトについてはターゲットへの考慮や流れ、事業の効果測定など、全体的に分かりにくい。

【C社：株式会社読売広告社広島支社】

- ・コンセプトや方針の設定が分かりやすく、マーケティング戦略が良くされている。
- ・考え方はよく整理されていると思うが、テレビ1局とのタイアップの経費配分が大きすぎるのではないかと感じる。
- ・自由提案の「広島城ライトアップ」はインパクトがあるが、県全体のバランスを考えると他の企画もあった方がよいと思う。

【D社：株式会社中国四国博報堂】

- ・業務の目的を理解し、いずれの企画も高いレベルの内容になっており、総合的にみて優れた提案になっている。
- ・ターゲットに合わせたページの改善を検討しており、若年層へのページ改修を大胆に行うなど効果のあるPRができると期待できた。
- ・考え方はしっかりしているが、コンテンツ制作の費用配分については再検討が必要である。

【E社：株式会社みづま工房】

- ・独創的な提案については評価できるが、メディアを絡めた周知については弱いと感じる。
- ・自由提案について、小規模なイベントでの単発の啓発活動では、県全体でみたとき虐待防止への効果は弱く、実施の必要性に疑問がある。
- ・潜在層へのアプローチが不足していると感じる。